

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

岐阜県 羽島市

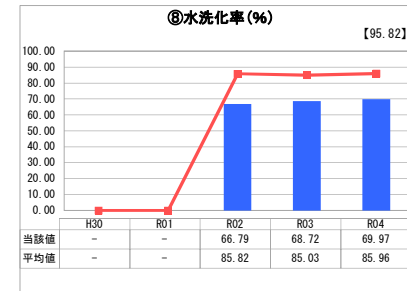
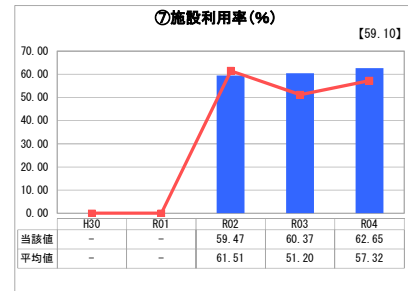
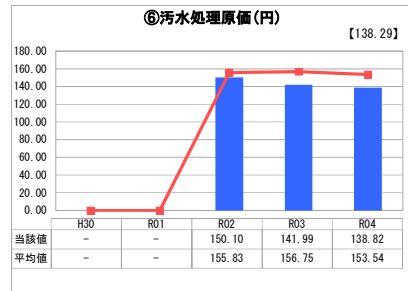
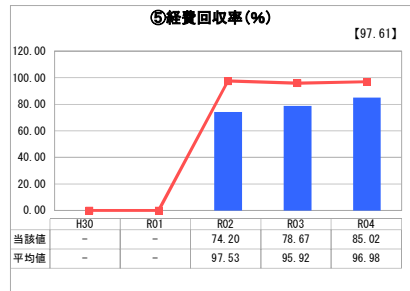
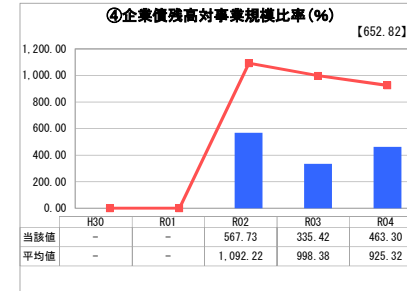
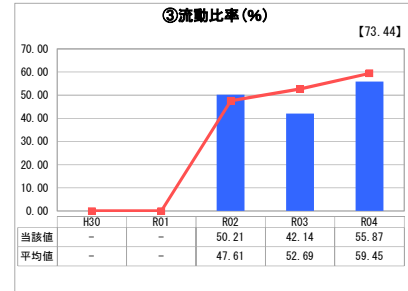
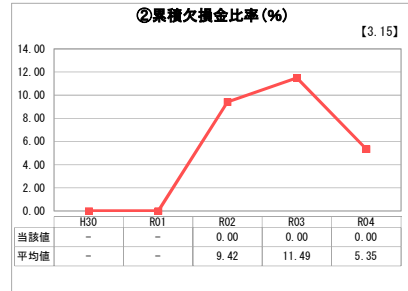
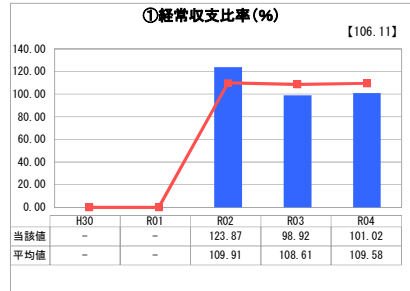
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	59.47	49.27	90.40	3,300

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
67,076	53.66	1,250.02
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
32,879	9.81	3,351.58

**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は100%を若干上回っていますが、一般会計からの繰入金に頼っている状況です。  
 ② 累積欠損金比率は0%で、健全な経営が行われています。  
 ③ 流動比率は100%を下回っており、企業債償還金が大部分を占める流動負債に対して、流動資産である現金預金が乏しい状況です。  
 ④ 企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均と比べて低く抑えられており、適切な規模で投資が行われています。  
 ⑤ 経費回収率は100%を下回っており、使用料収入だけで汚水処理費を賄えていません。使用料改定による収入増加が見込まれますが、経費削減や加入促進等にも取り組む必要があります。  
 ⑥ 汚水処理原価は類似団体平均を下回っており、効率的な汚水処理が行われている状況です。  
 ⑦ 施設利用率は類似団体平均を上回っており、適切な施設規模となっています。  
 ⑧ 水洗化率は類似団体平均を下回っているため、加入促進に努める必要があります。

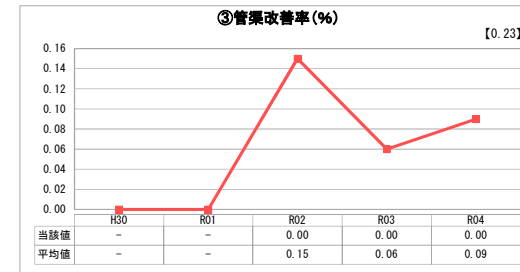
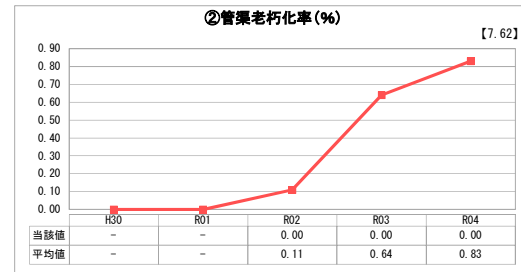
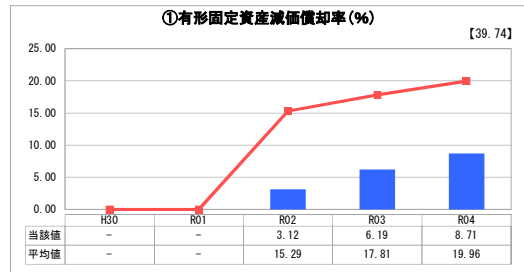
※数値の訂正

有収率 (正) 90.44  
 図表⑥汚水処理原価 R04 (正) 138.75

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は類似団体平均と比べてかなり低く、これは地方公営企業法を適用して3年目であり、減価償却が進んでいないためです。  
 ② 管渠老朽化率及び③管渠改善率は、管渠が比較的新しいため、0%となっています。  
 今後は、耐用年数経過に備えて、ストックマネジメント計画に基づき適切な点検・維持管理を行いながら、更新時期を推測し、改築等の財源の確保を図っていく必要があります。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

一般会計からの繰入金によって経営を維持する状況が続いていますが、令和5年1月の使用料改定により使用料収入が増加するため、経費回収率の向上が見込まれます。  
 企業債については償還のピークを迎えています。流動比率が低く、償還に対応するための十分なキャッシュを確保できない状況にあるため、適切な資金調達を行っていく必要があります。  
 今後はストックマネジメント計画に基づく施設の増設・更新等を予定しているため、経費削減の取り組みや下水道への加入促進を進め、財源確保に努めていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。